

知ってる？

ちょう しゅう き じ しん どう 長周期地震動のこと



とにかく横揺れがひどく、
行ったり来たり、
海の中で揺れている
感じがした。

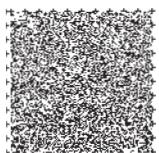
大きな横揺れが続いて、
すごく怖かった。
ビルが倒れるかと思った。

震度4でも全く違う揺れだった。
ビル全体がすごく揺れて、
気持ち悪くなった。

食器棚が動いて扉が開き、
食器がいくつか
飛び出した。



気象庁



音声コード

長周期地震動ってなに？

大きな地震が発生したときに生じる、周期（1往復するのにかかる時間）が長い揺れのことを長周期地震動といいます。

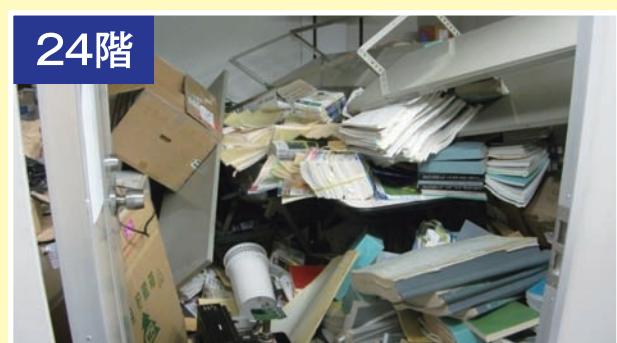
特徴1 高いビルを、長時間にわたって大きく揺らします。

特徴2 遠くまで伝わりやすい性質があります。



どんなことが起こるの？

- 高いビルでは、長周期地震動による大きな揺れにより、家具類が倒れたり・落ちたり・移動したりします。
- 天井の落下、スプリンクラーの故障、エレベータの障害などが過去の地震で実際におきています。
- 2011年の東北地方太平洋沖地震のときには、地震の発生場所から遠くはなれた東京でも高いビルが大きく揺れ、被害が発生しました。



2011年東北地方太平洋沖地震のときの
東京都内のビルの室内の様子（工学院大学提供）

地震が発生したらどうする？



高いビルでは揺れが長時間つづくことがあります。
10分以上揺れる場合もあります。



長周期地震動による大きな揺れにより、
家具類が倒れたり・落ちたりする危険に加え、
大きく移動したりする危険があります。



地震が発生した場所から遠く離れていても、
高いビルでは大きく長く揺れることがあるので
油断しないようにしましょう。

家具類や照明機器などが「落ちてこない」
「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、
揺れがおさまるまで様子をみましょう。



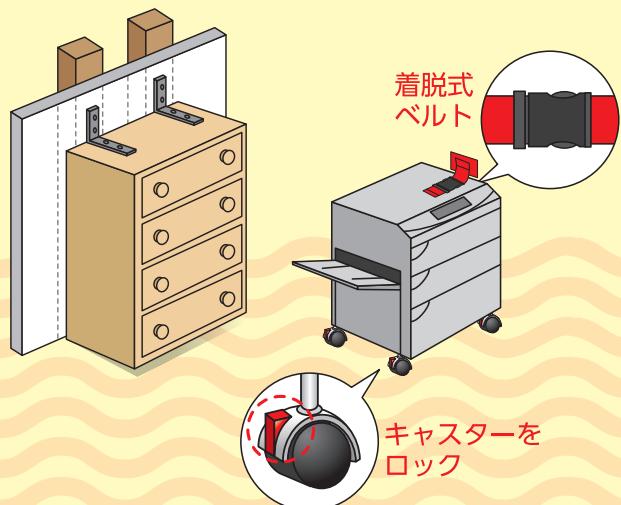
普段からの備えは？



事前に対策をすることで、長周期地震動による被害を
小さくすることができます。

●家具類が倒れたり移動したりする
場合に備えて、家具類等の固定を
しましょう。

●万が一、倒れたり移動したりして
しまった場合に備えて、家具類の
配置に気をつけましょう。



長周期地震動階級って知ってる?

高いビルでの長周期地震動による揺れの大きさは、震度ではわからないため、「長周期地震動階級」という目安で表します。

階級1

- 室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。
- ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。



階級2

- 室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。

- キャスター付きの家具類等がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。



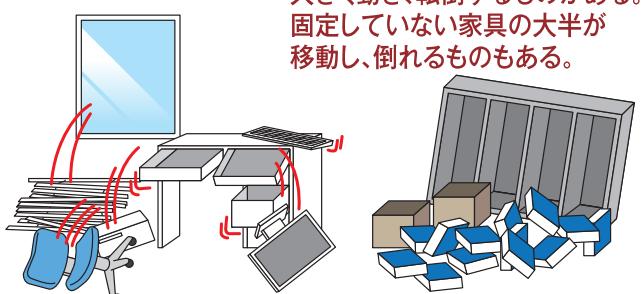
階級3

- 立っていることが困難になる。
- キャスター付きの家具類等が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



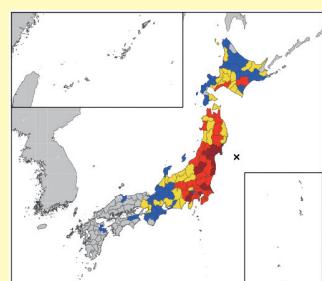
階級4

- 立っていることができず、はなないと動くことができない。揺れにほんろうされる。
- キャスター付きの家具類等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。



●地震発生後、気象庁ホームページで「長周期地震動に関する観測情報」をお知らせしています。

●地域ごとに「長周期地震動階級」がどのくらいだったかをることができます。



地域ごとの階級の図▶

<http://www.data.jma.go.jp/eew/data/ltpgm/index.html>

長周期 情報

検索

長周期地震動に関するお問い合わせ先

気象庁
地震火山部
地震津波監視課

〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9

電話: (03) 6758-3900 (代表)

FAX: (03) 3434-9086 (耳の不自由な方向け)

ホームページ:<http://www.jma.go.jp/>